

「被害対策に特効薬はありません」。私は20年間言い続けてきた。猪など野生動物の行動研究を30年続けてきてよくわかったことは、彼らは生きるために必死。水とエサと安全な場所にとわって生きている。人と違ってシンプルに生きている。山の中よりもおもしろい餌の存在を知り、人里に誘引された野生動物が農作物を食う。人の気配で茂みに隠れる。野生動物の行動は至ってわかりやすい。したがって、私たちは誘引となるエサを

基本的な対策⑨
これから期待される新技術



麻布大学フィールドワークセンター教授
おお山くじら研究所所長 江口 祐輔

除去する。茂みを刈り払って隠れ場所をなくす。農地を囲って作物に触れさせない。野生動物が人里でやってきたことの邪魔をする。総合対策は最もシンプルの守り方だと改めて

生き残るのは人を助ける技術

思う。被害を減少させるためには、これらの被害対策の基本を抜くことはできない。



筆者らが開発した持ち運びやすく、設置時間が大幅に短縮できる支柱とクリップ

術。柵の設置であれば、設置しやすい柵の開発や、点検・補修管理がやりやすくなる技術。捕獲であれば加害個体が捕獲できる技術や、取り逃がしがちな捕獲技術があれば被害対策に役立つ。これまでにさまざまな技術が開発されてきたが、人の代わりによってくれる技術よりも、人の作業を助け



郷土食材 レシピ

【香川県】

鯛のわかめ蒸し

(1人分151kcal、塩分1.2%)

◆材料(4人分) 鯛4切れ、塩小さじ1/2、塩蔵わかめ20~30g(戻して約60g)、長ネギ1本、エノキダケ大1ダ、A(酒大さじ4、水大さじ4)、ポン酢しょうゆ

ゆ少々

◆作り方 ①鯛は塩を両面に振って10分置く。②ワカメは洗い、たっぷりの水で3分ほど戻し、水気をしぼってざく切りにする。長ネギは斜め薄切り、エノキは石づきを取って半分に切り、ほぐす。③フライパンにネギとエノキを順に重ねて入れ、上に①の水けを拭いて乗せる。Aを振って中火にかけ、煮立てきたらふたをして4分、ワカメを乗せてさらにふたをして3~4分蒸す。④器に盛り、好みでポン酢しょうゆを少量かけていただく。

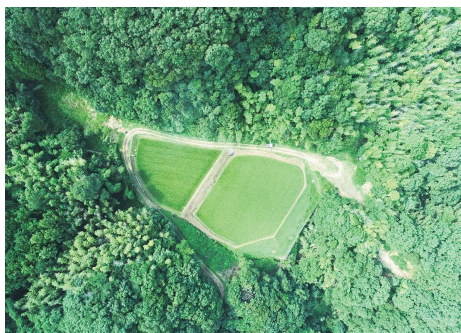
※鯛の代わりに白身の魚を使っても。

農業委員会ネットワーク通信

農地を活かし担い手を応援する

さぬき市では、農業従事者の高齢化や減少などにより、全耕地面積2376㌔の約5%にあたる129㌔が遊休農地となっている。さらなる増加が懸念される中、同市農業委員会(松原俊幸会長)はドローンを活用した遊休農地の把握や地域特産品の開発による解消対策に取り組んでいる。

香川 さぬき市農業委員会



①ドローンを操作する委員、②ドローンから撮影した農地の写真

同委員会でのドローンの活用は、2018年度から始まった。活用のきっかけは、17年に同市がドローン操縦士の育成を目的としたNPO法人との間で、災害時における協力に関する協定を締結したことだった。同市には現在、近年の多発する自然災害の被害状況の早急な把握と復旧を行うため、ドローン操縦士が多数

松原会長はまず、自らのドローンの操縦技術を習得するため、同法人が行う操作研修会に参加して資格を取得。同委員会では18年から

こうした遊休農地の把握の他、コウギクを活用した遊休農地の解消にも取り組んでいる。コウギクは中国茶のひとつとして親しまれているキク科の多年草で、食事前に摂取することで食後の血糖値の上昇を抑える効果があるといわれている。キクの香りやほのかな

現在のは摘み取ったコウギクの花を細かく粉末状にしてお茶にするなど、商品開発の試験を行っている。本格的な生産と販売に向け、今後も栽培と加工の研究を続ける予定だ。

遊休農地で特産品開発

コウギク栽培し茶の商品化めざす

甘みがあるのが特徴だ。同委員会では20年から、遊休農地を活用した新たな市の特産品の開発を目指し、コウギクの栽培に取り組んでいる。まずは栽培を行っている福井県小浜市を視察。農業委員と推進委員自らが栽培の習熟や加工の研究に取り組んでいる。コウギクの栽培は野菜などと比較して重労働にならず、高齢者でも取り組むことができ。同委員会では、山間部だけでなく平野部の狭小な遊休農地の対策になると期待している。また、美しい景観づくりの観点からも有効と考えている。

これまで市内2カ所、計1.7㌔を調査している。調査では、農業委員や農

地利用最適化推進委員がドローンから送られてくる映像を見て現況を確認する。従来、見回りに約1時間かかっていた場所が15分ほどで完了。作業の効率化や安全の確保につながった。現在は松原会長の他にもう1人が資格を取得しており、農業委員や推進委員からの依頼があれば市が管理するドローンを借り受け、調査を行っている。

実態把握にドローン活用

映像で山間地などの現況を確認

遊休農地解消へ対策次々実践